



日本赤十字社愛知県支部

事業部 救護・事業推進課

山田 菜央（入社4年目）

赤十字との出会いはいつ、どこでしたか？

就職先として赤十字を認識したのは、大学3年生の終わりに学内で行われた説明会に出席したことがきっかけです。赤十字といえば病院や献血の印象が強かったですが、赤十字が様々な事業を展開していることを説明会に出席して知りました。人の役に立つ仕事がしたいと思っていたので、赤十字で働きたいと思いました。

現在の仕事は？

赤十字が行う9つの事業のうち、災害救護に関わる業務を主に担当しています。平時は被災地に派遣する救護班対象の研修会の運営や、自治体等が主催する訓練への参加、救援物資の整備・備蓄等災害に備える活動を行っています。災害発生時には、被災地の情報収集をしながら、救護班の派遣や救援物資の搬出等の被災者の支援を行います。病院や血液センターの職員、ボランティア等との連携が必要な業務もあります。

1日の仕事の流れ（例）

8:45 就業時刻15分前に出社、メールチェックとその日のtodoを確認するのが日課



9:00 課内ミーティングを行い、各自の予定や業務、課題を共有



11:00 訓練前の最終打合せ



12:00 昼食をとったら訓練に向け出発



13:00 実動訓練会場到着、病院の救護班と打ち合わせ

14:00 警察や消防等と訓練に参加

17:00 訓練終了後、帰社

18:30 退社

19:30 帰宅

23:00 翌日の準備をして就寝

仕事をするうえで、大切にしていることは？

災害発生時に対応するために、平時からの備えが大切です。研修会の運営や救援物資の備蓄等普段の業務は、その時点で直接被災者のためにはなりません。発災した際には被災地に派遣された職員の活動や配布した救援物資が被災者の苦痛や不安の軽減につながると思うので、一つ一つ丁寧に取り組んでいます。

また、様々な職種やボランティアの人と関わる機会が多いので、円滑なコミュニケーションを心がけています。



メッセージ

日本赤十字社では、事務職だけでなく医師や看護師等多職種の人が働いていますが、「苦しんでいる人を救いたい」という思いは共通しています。日々の業務は裏方のような目立たない仕事も多いですが、赤十字の理念のもと、先輩や後輩に支えられ、協力しながら取り組んでいます。

赤十字の理念に共感し、赤十字で働きたいと思った皆さんと一緒にお仕事できることを楽しみにしています！